

年長組保護者のみなさまへ



生駒市立壺分幼稚園

平成29年度から30年度の二年間にわたって、幼児教育と小学校教育の育ちをつなぐことを大きな目標に、壺分小学校、壺分幼稚園、いちぶちどり保育園がモデル校園として幼小の接続事業研究を進めています。

壺分小学校区では公立校園での幼小の交流が行われてきましたが、地域の保育園と交流する機会は少なかったのが現状です。そこで幼稚園が仲立ちをしてこの3校園をつなぎ、連携を深めていくことを目指して取り組んできました。

3校園の教職員が連携し、子どもたちにとって楽しい交流活動になるよう計画案を立てました。そして育ててほしい子どもの姿や、遊びの中で子どもたちが学んでいる姿を理解し合うために、意見交流を重ねてきました。

その中で出てきた課題が①自主性・主体性を養う。②コミュニケーション力をつける。③体づくり、体力をつける。です。この3つの視点をもとにした活動を積極的に交流の中に取り入れ、学びにつながる力について検証してきました。その様子や成果をお知らせします。

この1年いろいろな場面で保護者の方々に支えていただきありがとうございました。

泥・泡・砂遊びでの交流

石鹸をおろし器で細かく擦って少しずつ水を入れて泡立てていきます。この水の量が思考のポイント！楽しく遊ぶ中で「考えて」「試して」みることができるように・・・

大きなシャボン玉にするにはどんなふうによればいいのか？泥だんご、固くかためるには水と泥の配分が重要！いろいろ試しながらやってみて、自分で発見していく姿が出てきました。



秋みつけ、びしゃもん公園での交流

図鑑などで、あらかじめどんな木の実や葉っぱがあるか調べて、いざ実際に探しに行きました。1年生からも知っていることをその場で教えてもらうなどのやりとりが盛んになり、かかわる力の育ちを感じました。



活動の後には、みつけたことを、発表し合っています。1年生の話し方を聞いて、こんなふうには話すと感じた年長組さん。クラスでの遊んだあとの話し合いでも、ちょっと話しつづりがかわってきたような・・・自信をもって自分の考えを言いながら、友達の思いも聞こうとする姿が見られ、成長を感じています。

1年生のなかよしあきまつりに参加 1

自分たちも参加してできることはないか考えたり、数量や図形などに関心をもって遊びに取り入れたりして遊びました。



1年生のなかよしあきまつりに参加 2

1年生4クラスの教室をペアの1年生と一緒にいろいろなゲームコーナーを周って楽しく過ごしました。

遊びの中で関わりを深められるような“しかけ”として、

- ①どんぐりごまを作って1年生と対戦できるようにしたこと
- ②どんぐりをコインに見立ててお店屋さんとのやりとりに使い、数量に関心をもてるようにすること。
- ③どんぐりコインがなくなったら、どんぐり銀行に行くこと（じゃんけんで勝つとコインがもらえるシステムになっています）

などなど、子どもたちが遊びながら楽しく学びへとつながっていくよう工夫しました。



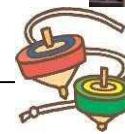
図書室見学・校長先生の読み聞かせ

図書室の司書の先生からお話や絵本を読んでもらいました。年長組らしくしっかり話が聞けてほっとするやら、誇らしく思うやらの1日でした。小学校での本の借り方もお聞きしました。

また、小学校の校長先生に幼稚園に読み聞かせに来てもらいました。生駒に伝わる伝承のおはなし「役行者」の紙芝居を見せてもらい、子どもたちは興味津々・・・校長先生の声に引き込まれながら、楽しい時間を過ごしました。小学校への進学に期待が高まるようにと願っています。



園生活や、幼小の交流を通して感じられた子どもたちの育ち



主体的に関わる力の育成に向けて～ふれあいタイム～

コミュニケーションの力と言葉の表現力の成長

ふれあいタイムでは、投げごまのひもがうまく巻けるようになった！けん玉のもち方を教わったらできた！カローリングゲームで投げ方を教えてもらったうまくいった！…などなど自分の言葉でしっかりお礼や感想を言うことができ、スクールボランティアさんたちもびっくり！！「さすが年長組さん」と言ってもらい、嬉しかった1日でした。



小学校との交流から広がった遊び 自主的・主体的に関わっていかうとする態度

「1年生が作ったみたいなの作りたい」そんな声から広がった遊びです。編み物も自分の作りたいものを粘り強く最後まで作ろうとする姿も見られました。何より友達同士で励まし合いながら制作している姿に成長を実感しました。



科学的な思考の育ちに向けて

今年はとにかく寒いので、氷作りを盛んに行う姿が見られます。どのようにしたらきれいな氷ができるか考え合いながら、いろいろなことに興味関心をもって世界を見ていける人になってほしいです。



からだづくりに向けて

ドッジボール、十字鬼ごっこ、縄跳び、たこあげなど、体力をつけようというよりも、楽しみながら自然に体を動かし、体幹を刺激することで、学習に向かう姿勢や態度の育成を目指しています。

体を動かす楽しさを十分に味わってほしいと願い、担任も一緒になって楽しもう！の精神で遊んできました。なかなか継続した時間がとれず、次の遊びへと移行する場合がありますが、これからもお日様が明るく感じられる日には、戸外での遊び時間とって、気持ちも体もリフレッシュしていきたいと思っています。

縄跳び …みんながうまく跳びたい思いをもっています。根気よく練習し、友達と励まし合い、1つずつできた実感を重ねることが大切です。

ドッジボール…誘い合ってたくさんの友達と一緒に楽しい！ボールを複数にするとスリルが増して、俊敏な動きが要求されます。

